

MATAGI PROJECT Member (2013年10月現在)

野生動物の排出皮を有効活用し、皮革製品としてブランド化することで、地域活性および新たな雇用機会創出を目指して「MATAGIプロジェクト」として活動している産地メンバーです。

MATAGI
PROJECT

岡山県吉備中央町 KIBINO

産地の中心は農業で、水稲を中心に高尾野菜、果物、花き、酪農、肉用牛飼育が盛んです。また、岡山空港に隣接し、中国横断自動車道インターチェンジを有する特性を生かして、古備高原都市への産業集積を推進しています。



連絡先
〒703-0807 岡山市北区南2丁目13-1
岡山県産物振興センター・NPO会館
TEL/FAX: 086-322-0300
URL: <http://www.opic.or.jp/5EIR-ckayama/>
E-mail: ckayama@tempo.co.jp

滋賀県米原市 水原の里まいたら みらいづくり隊

「ケモノは邪魔者」。いままでそれが通説でした。しかしそこで終わってしまったら、何にも残りません。どうせならば、「ケモノで業物」。地元の住民の思いと共に、みらいづくり隊では獣商品の開発に取り組んでいます。



連絡先
滋賀県米原市上板488 TEL: 090-1744-0152
アドレス: care_soyokaze@yahoo.co.jp
担当者: 水原の里まいたら みらいづくり隊 加藤竜典

株式会社カオパオプロモーション REGALO

三重県と県内の大台、美杉、伊賀の各解体処理施設、地元の縫製業者などが協力し、食肉利活用が進む二ホンジカをさらに有効活用するために、革製品の企画開発・販売を開始しました。



連絡先
名古屋市中区東2-14-30
TEL: 052-935-2707 FAX: 052-935-2709
MAIL: toshio_ano@kapaio.jp

山口県長門市 長門の資源を有効活用する会 長門レザー

本州の最西端 山口県の北部に位置する海の幸、山の幸豊かな「長門市」。私たち長門の資源を有効活用する会は、「長門レザー」をまた新たな長門の特産品とすべく目指しています。



連絡先
山口県長門市東港川2220
山口県資源を有効活用する会 長門レザー
「長門の資源」で検索 nagatoshi@gmail.com

長野県幸村 けもかわproject けもかわ

女猟師のおくりもの〜女性の視点からあったらいいなをプロデュース。山林が村全体の86%を占める。自然豊かな村です。そこにあるもの、いる人々で生み出したのがこの「けもかわ」商品です。



連絡先
<http://blog.jp/157148614433955> (地域おこし協力隊ブログ)
<http://vil.yasuka.nagano.jp/> (幸村HP)
E-mail: muradokuri3@vil.yasuka.nagano.jp
担当者: 地域おこし協力隊 井野香

信州産まれの革のある暮らし研究所 信州レザー本舗

山々に多く生息している鹿。その恵である革を使い商品を作りました。城下町として伝統的なモノづくりが盛んな地方でもありますが、「新しいモノづくり」の形としてとして普及させていきます。



連絡先
長野県松本市東立900-3棟上ビル3F
(株) コーダーエージェンシー内信州レザー本舗
TEL: 0263-45-0557 FAX: 0263-45-0558
E-MAIL: kodoagent@gmail.com

北海道・24KIRICO 北海道旭川 エゾシカ協同組合

北海道

24KIRICO

急速に増えすぎたエゾシカ。最近では札幌市内にも頻りに出没しています。農林業被害は約60億円に達し、現在もほとんどが駆除のため廃棄されているが、少しずつでも革として活用することを目指し、製品化を試みています。



連絡先
札幌市白石区川北1条1丁目12番22号
tel/fax: 011-585-8181 高橋 孝子
URL: <http://www.24kirico.com> mail: info@24kirico.com

福島県伊達市

伊達市は、県内でも有数の農産物の生産地域で、もも・りんご・柿などの果物、ニラ・きゅうりなどの野菜の生産が活発である。特に、ももを原料とするあんぱんは全国でも名の知れた品目である。



連絡先
福島県伊達市豊山町山田字段原45番地
一般社団法人 伊達市農林業振興公社
TEL: 024-564-2201 FAX: 024-566-3077
E-mail: bz118628@04-plala.or.jp
担当: 佐藤正紀

宮城県石巻市・牡鹿半島 OCICA

牡鹿半島・牧浜で、かつては牡蠣の養殖を生業としていた女性たちが集まって、地元の素材である鹿の角と魚鱗の補修糸を使ったアクセサリを制作。地域の素材を活用して、新たな仕事をつくっていきます。



連絡先
東京都墨田区京島3-35-8
TEL: 070-6646-5756 URL: <http://www.ocica.jp/>
つむぎや <https://www.facebook.com/TUMUGIYA>
E-mail: info.tumugiya@gmail.com 担当者: 友廣 智一

山梨県小菅村

多摩川源流に位置する小さな村です。今回も、協力隊など若手メンバーが中心となり少しずつ動き出しました。仕組みづくりや製品開発はまだこれからですが、息の長い取り組みとして活動していけたらと思っています。



連絡先
NPO法人多摩源流こすげ 担当者: 青柳博樹
山梨県北都留郡小菅村1911
TEL: 0428-67-7055 FAX: 0428-67-7057
URL: <http://www.npokusuge.jp/> E-mail: info@npokusuge.jp

対馬

平成22年度からイノシシ・シカの皮革資源化による島の活性化を図るプロジェクトを開始。「対馬市島おこし協働隊レザークラフトで島おこし担当」として都市部からの移住者を雇用し、製品開発を行っています。



連絡先
〒817-8510 長崎県対馬市鏡野町国分1441番地
対馬市島おこし協働隊レザークラフト担当 山下 達
TEL: 0920-53-6111 (市役所代表) FAX: 0920-53-6112
E-mail: ry_leather@sun-tctv.ne.jp

静岡県 ふじのくに産 鹿革・角・骨シリーズ

鹿をして肉を取った後は、胴体は産業廃棄物として処理されています。それをできるだけ多く活用できないか。皮は鞣して革にし、デザイン・加工し商品として提供を始めた。



連絡先
土屋デザイン事務所
〒422-8005 静岡県静岡市駿河区油田1171-3
TEL: 054-263-0708 FAX: 054-263-0881
土屋 土屋 寛一

島根県浜田市三隅町 七つ葉

七つ葉

近年、観光資源や農家の財産である田・畑がイノシシにより甚大な被害を受けています。七つ葉では、地元猟師が捕獲したイノシシの皮を無駄にせず、様々な観点から革製品として活用する取り組みを行っています。



連絡先
〒697-1337 島根県浜田市西村町 担当者: 長谷川
TEL: 0855-27-1037 FAX: 0855-27-1037
URL: <http://nananaba7web.fc2.com/> (年間休作中)
E-MAIL: opstaka_office@yahoo.co.jp

MATAGI
プロジェクト
協力メンバー

訪見学園女子大学マネジメント学部/日本農業新聞/
NPO法人 日本エコツーリズムセンター/
NPO法人 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト/
ホールアース自然学校/革のまちすみだ会/山口産業株式会社